

24 震災被害者の身元確認について / 是永 俊晴 会員



以前警察協力員に関係していらしたので、その辺のお話をさせていただきます。
 今、福島・宮城・岩手に身元確認の為、200~300名の歯科医師が2名1組で行っています。以前の例で言いますと、1985年JALの墜落事故で520の方が亡くなったのですが、その内282の方が身元不明でした。その時の話として、部分遺体が多く、また炭化している遺体もあり、男女の区別も判らない状態だったようです。我々の場合には、アゴの骨が残っていて歯の治療の痕があり、以前治療したレントゲンが残っていれば大体つかむことができます。歯が4、5本ある骨しかなくても、以前の治療の記録があれば確認ができます。JALの事故時もレントゲンを2台持ち込み、部分遺体のレントゲン撮影を行い、最終的にはほとんど(520名中518名)の判定ができました。航空機事故の場合、乗客名簿があるので、やりやすい事はあります。

今回の震災の場合には、今のところ12,800人の検証を行い、60%の7,270人の身元が判っています。阪神淡路大震災の時には直下型で、建物の中で圧死された方が多く、身元が判りやすい状況でしたので、震災から2週間後には行方不明者は26名でした。今回は津波によって流されていますので、身元が判りにくいという事が大きく違います。

問題なのが、診療所自体が被災し、流されてしまっている事です。レントゲンも診療記録もありません。ですから、身元不明の方・ご遺体も見つからない方が多くなるとおられます。

25 ガス配管(溶接)工事について / 井尻 英雅 会員



今回の東日本大震災におきまして、様々なライフラインが寸断されました。
 弊社はの業務は、建物の鉄骨加工及び組み立て、建造物などの解体工事、ガスを送出するプラントのメンテナンス及び付随する配管工事を行っております。その中でガスの配管工事のお話をさせていただきます。

ガスの配管、パイプの種類として、「ポリエチレン管」「鉄管」等がありますが、このパイプによりまして皆様方にガスが送出されています。弊社では「鉄管」を繋ぐ業務を行っていますが、ガスの配管を繋ぐ作業は、非常に特殊な技能が必要となります。施工者は毎年行われる、ガス会社の「技量確認」に合格しなければなりません。技量確認者が工事を行った場所の検査ですが、エックス線による接続部の健全性の確認、ガスを通す前の耐圧気密試験が行われ、安全が確認された後、ガスが供給されます。

皆様、どうぞ安心してガスをお使いください。

委員会報告

- 柳瀬副会長
4/17 地区協議会は沼津の計画停電により12:30受付
13:00開会、食事はありません。
- 親睦委員会(井尻委員長)
4/4 浮月楼にて観桜会は通常例会に変更

出席報告..... 針谷委員長

	月/日	総会員数	出席者 合計	会員欠席	出席率	メイク アップ	確定 出席率
前々回	3/7	45名	30名	11名	—	(3名)	80.0%
前回	3/11	45名	21名	18名	—	(3名)	61.0%
本日	3/28	45名	38名	5名	88.0%	(名)	—